

# 思港

## 第5号

立川高等学校  
報同窓会  
平成23年1月1日  
発行

### 平成二十二年総会報告

2010年9月4日、平成二十二年総会が開催されました。

これまでの学校内で開催してきましたが、今年初の試みとして全同窓生を対象とした懇親会を併せ行うこととなり、新横

濱プリンスホテルに会場を設け、お世話になった先生方・同窓生

合わせて総勢約200人もの方々に出席頂きました。

15時から開催された総会では、冒頭に渡邊校長先生から挨拶を頂いたのち、事業報告・決算報告・補欠役員選

任・議案承認・事業計画、予

算案の承認と進み、全ての議事がつつがなく進行了ました。16時からはお待ちかねの懇親会となり、神倉正先生の乾杯のご発声に始まり、ご出



懇親会会場の様子

席頂いた10人の先生方からおひとりの近況や在任中の思い出話などをお話し頂き、なつかしく笑顔あふれるひと時を過ごしました。

続いてビンゴ大会が行われ、卒業期ごとに記念写真を撮影し、最後に校歌斉唱で締めくくり、まさにあっという間の2時間が過ぎて行きました。

先輩・後輩の何十年ぶりの再会も多く、学年を超えた同窓会ならではの盛り上がりでした。

その後はホテル内の2次会場場で、あるいは卒業期ことに思い思いの会場に移り、深夜に及びまで話に花が咲いていた模様です。



1等賞をかけたビンゴの決勝じゃんけん

初の校外開催・懇親会併催と

いうことで、手探りの短い期間での準備となりましたが、多数の方々の「尽力のおかげで無事終了することができました。参加者の皆様、そして

お力添え下さった皆様にはこの場をお借りして心より御礼申し上げます。

これまで総会は「毎年9月の第一土曜日」の開催と規定されていましたが、今総会にて「毎年6月の第一土曜日」に改められました。2011年は6月4日の土曜日に、新横濱プリンスホテルでの開催を予定しています。ぜひ一人でも多くの方にお越し頂ければ幸いです。(事務局)

### 平成22(2010)年度 予算

(収入の部)			
繰越金	平成21(2009)年度より	933,011円	
会費	39期生(238名)	238,000円	
雑収入	預金利子等	500円	
合計		1,171,511円	
(支出の部)			
消耗品費	文房具、封筒等	3,000円	
通信費	総会案内、会報配布等	35,000円	
印刷代	会報印刷	35,000円	
HP運営費	ホームページ運営費	73,000円	
積立金	港北高校周年事業寄付積立	50,000円	
思港祭	出展備品代、資料作成費	10,000円	
総会準備費	通信費、名札代等	30,000円	
予備費		935,511円	
合計		1,171,511円	

### 平成21(2009)年度 会計報告(単位:円)

(収入の部)				
		予算額	決算額	差し引き
繰越金	平成20(2008)年度より	941,346	941,346	0
会費	38期生(231名)	231,000	231,000	0
雑収入	利子	1,800	441	▲1,359
合計		1,174,146	1,172,787	▲1,359
(支出の部)				
消耗品費	文房具等	10,000	16,504	▲6,504
通信費	総会案内、会報配布等	70,000	66,820	3,180
印刷代	会報印刷	50,000	33,852	16,148
事業費	ホームページ運営費	84,000	72,600	11,400
積立金	港北高校周年事業寄付積立	50,000	50,000	0
予備費				
合計		264,000	239,776	24,224
収入総額			1,172,787	
支出総額			239,776	
残額	平成22年度に繰越		933,011	

同窓会HP URL  
<http://kohokuob.com>

クラス会・OB会の情報などは  
[info@kohokuob.com](mailto:info@kohokuob.com)  
までお寄せください。

## 同窓会員の近況

### 『大学の私』

星野 晴輝 (30期生)

皆さんこんにちは。2009年度卒業の星野晴輝と申します。港北高校を去ってから、かなりの月日が流れた気がしているのですが、実際にはまだ1年も経っていません。と云いつつ、少々驚いています。と云いつつ、3ヶ月に1回は学校に顔を出しているのですが笑。

私は現在、専修大学の生田キャンパスに通っています。雰囲気的にはやはり大学といった感じで、自分の持っていた大学のイメージにぴったり当てはまったのでとてもリフレッシュできました。ただ、

私がいる生田キャンパスには校舎が1号館から11号館まであり、それぞれの校舎へ行くのにはそれなりに距離があります。そのため、次の授業が違えば校舎が異なる場合、15分の休み時間

間の間に急いで移動しなければなりません(汗)。しかも早く移動できない場合は授業の席を取るのにも大変です。なので、大学生になってからは時計が必須アイテムになりました。

通学には電車とバスを利用していますが、1時間くらいで到着します。人によっては、2、3時間かけて通学している人もいますので、自分ばかりの楽な方だと思いません。高校時代は自転車通学だったので、定期券を持てるようになった今の自分は成長したなあと感じています。

大学生になって一番大変と感じたことは、お金の問題です。大学生の日々は授業料以外にも、自分のことが忙しい。友達付き合いやサークルなどで貯金はどんどん減っていきます。やはり「昼食代や定期代を節約してしま

ったららっ……」という大学生の毎日は予想以上にシビアなものでした。しかし、半年以上経つと、それまたの日常にならなっています。色々な人たちに出会える大学は今では

とても楽しいです。朝の通学や校舎の移動も最近ではもう馴れっこです。だんだんこの忙しい毎日が当たり前のものになっていきます。昔、高校生であることが当たりの前だったように……。

今でも何かあると「高校のことを思い出します。毎日が充実していたあの日々がとっても懐かしいです。あの日に戻れたら」と思ってしまうほど。高校生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。一生に一度の高校生活。ただ漠然と過ごすのではなく、一日一日が思い出に残るように、毎日を刺激的に過ごしていただきたいと思います。



現在の港北高校

(陸上トラック上に建てられた仮設校舎)

### 『もつながな港北の絆』

松本真 (22期)

「思港寄稿するにあたって、思考力が落ちてきた」「親父キヤグが板についてきた松本です。

同窓会役員の間で「お前は誰なんだ」を流行らせようと考えている松本です。

大体メールの書き出しでは2行の迷惑文を付けておきますが、それも一きかなうつけさせていただきました。

そんな私も高校を卒業して8年。二人分の子供手当を貰いつつ仕事に明け暮れております。近況としての、港北高校は切っても切り離せない生活の紹介です。

①先輩の紹介で新卒にて入社した会社に今でも世話になっている事。いわゆる「コネ」です。  
②高校バスケット部OB練習会を続けている事。月1回ではなくも少しづつ量が欲しい。質は問わない。と云いつつも問えない。

③顧問の先生と年1回程度酒席がある事。今では完全に泥酔友達。

④某SNSにて新たに高校時代の友人が増えている事。当時は会話すらなかった。本当の私を知ると離れていきたくて怖いです。

⑤社会人になって、友人と呼べる人を見つからない事……。etc.

そして、現在に至っているのですが、  
①(1) 高校バスケット部OB会について少し。

14期の先輩から26期の後輩まで広い範囲で一緒に活動を楽しんでおり、一番上の先輩と一番下の後輩では年齢格差がありそうですが、そんな格差を感じさせない活動をモットーにバスケ後の飲み会は毎回欠かさず参加ご希望の方は事務局(遠藤副会長)まで。遠藤先輩のみませ。

②(2) 顧問の先生との泥酔友達について  
顧問の先生と飲み始めたのは

先生が教頭になった頃でしょうか。10年位前？

その頃はまだお互いに遠慮や気遣いがあったので泥酔までは行きませんでした。校長になり、やがて教職から引退された時には泥酔友達として酌み交わす間になっていました。(先生「うめななな」)

今では私の悩みを聞いてもらえぬ唯一の恩師として、急な呼び出しにも感心してやる心優く友人のひとりになっております。(友人だなんて。先生まだまだ「うめななな」)

『だいたい海外赴任中』  
馬淵豊(15期)  
早いもので港北高校を卒業してから25年が経ちました。私は1990年大学卒業後、自動車用ポンプ、PFD等を製造

販売してのスタンレー電気株式会社に入社しました。自動車関係の事業管理、企画等を経験した後

経理部に異動。現在はアメリカの子会社 Stanley Electric US に勤務しております。(以降勤務先をSUSとします)。

SUSへの赴任は今年から4年前の2006年11月末。2003年の末に家を建てた事もあり、同居していた妻の父を残し、妻と3人の娘での出回生活になりました。

家族の帯同にあたっては子供の教育の関係中々、小、小1でのスタートです、義父だけを日本に残して大丈夫か等問題は抱えておりましたが、義父が「家族帯同すべき」と背中を押してくれた事から現在の出回生活が始まりました。

私の勤務先であるSUSはアメリカオハイオ州の首都コロンバスから車で40分程のロードンという田舎町にあり、日本からの出回者は会社から車で5分ほどのところまで畑と豆畑に囲まれた暖かな町で生活して

おります。

娘達も今年で高2、中3、小4となり、平日は現地校に通いテニス、マーチングバンド、チアリーディング等と現地校の子供達に解け込みながら米国生活を満喫しています。

とは言っても毎日当然ながら英語での勉強と宿題、土曜日には日本語補習校での勉強、我々親も現地校への送り迎えクラブ活動時、毎日の宿題の手伝い、補習校への送り迎え私ばかりじゃありません。ゴルフを楽しみますがと日本では経験の出来ない生活をしております。

そんな子供達、妻、自分へはオハイオから片路1、2000マイル走ってアメリカ最南端キーンウエストを見学し、クルーズ乗船後は朝から晩までミッキー漬けと美味しい食事に大満足。帰路はちょっぴり長いドライブとなりましたが、アメリカでしか味わえない大旅行も経験でき

ました。

ました。

来年には娘の進路の関係から帰国予定となっておりますが、一度日本を離れて多くの体験をし、日本の良さ、そして家族の大切さを勉強できたなと思えます。年齢的には良いおじさんです。

仲間入りではありませんが、まだまだこれから前向きに港北高校のOBとして頑張っていきたいと思っています。

仰げば尊し  
〜先生からのお話

神倉 正先生(数学)

在任：昭和44年4月

〜昭和50年3月



同窓会総会での乾杯のご発声

### 『創立初の話題』

この度は、創立以来、初めての同窓会で懇親会が盛況の裡に運ばれた。心からお祝い致します。実行委員の方々の決意、出身校を想い気持だ、そして仲間意識に敬意を表します。年齢を経ると共に、過去を振り返り、善いにつけ悪いにつけ思い出が、走馬灯のごとく脳裏をめぐる。つまり、過去は、ほぼ美化されるというのが、人の持つ善的追憶なのかもしれません。

さて、港北高校初期の話題を二つ程、お話しします。それは、一期生が、鶴見高校で、一年間を過ごした昭和44年(1996)年(1)のことです。一つ目。この頃、中国は、文化大革命で、国中が混乱の坩堝でしたが、聞えてくる音は、心地よい「造反有理」(毛沢東の言葉で、反逆には道理がある。この大合唱でした。「造反有理」は、大学は勿論のこと、都市部の高校にも波及し、学園紛争が燎原の火の

「いつく燃え広がったのです。

神奈川県の一ヶ所の高校では、学校封鎖等で、大混乱しました。鶴見高校も、9月当初に生徒による突然の学校封鎖があり、生徒心得の廃止、制服廃止、中間・期末テストの廃止などをテーマに、2学期は、ほとんど生徒集会で終わりました。同じ校舎内での授業でしたから、「道々有理を言い出す港北生が出るのではないかと心配しました。」

その頃、世界は、東西冷戦で、米ソの群を抜く軍事力に対して、中国は一貫して覇権主義でした。思い出すのは、毛沢東の国際的な毛沢東主義の語録です。「うちは、」大國主義を断固として、徹底的に、さむいむいむい、全部一掃しなければならぬ。「うちは、」が、中国の現代の神様「毛沢東」だなんて感じしました。今の中国に、だいたい通じますね。反覇権は、いついたのでしょ。か。隔世の感がします。二二四年、一期生が、二期生

の入試監督をしましたか？

これは、本当の話。入試業務は、港北だけで、と言った校長の意向で、入試監督の補助に生徒会役員を中心とした一期生を当てたのです。1教室の監督は、2名ですが、正監督は、先生で、補助の監督は、一期生でした。今考えると、どうなのでしょう

か？ 当時の教頭が、監督補助の生徒に向かつて、「君達は、準公務員だ。」などと話した事を思い出します。ただし、採点は、しませんでしたよ！こんな事は、後にも先にも港北高校だけだったでしょう。今となっては、懐かしく思われます。

### 同窓会活動報告

2010年は会報第4号発行に始まり、第3回の卒業式、第4回入学式、PTA総会、体育祭、太尾ひろゆき祭り、思港祭、これまで以上に多くの学校・PTA・地域行事に参加させて頂きました。



思港祭での歴代卒業アルバム展示風景

式典での現役生徒たちの凛とした表情や、体育祭・文化祭での躍動感や笑顔に触れるにつけ、いい学校を卒業できたことをうれしく思つ次第です。

また、開設2年目となったホームページの存在も徐々に浸透しつつあり、クラス会・同期会・OB会などの告知に多数の「利用を頂いております。」

そしてなによりも、同窓会総会・懇親会を通じ、実際に多くの同窓生と顔を合わせられる場を設けることができたことは大きな一歩だと自覚しております。しかしながら、まだまだ同窓会の認知度は高いものとは言えません。ぜひ皆様方の一層の力を添えを賜うたい、引き続きよろしくお願い致します。

### 新任役員より

前副会長の松本さん(11期)の期中退任に伴い、新たに4期生の嶋村さんが役員となりました。着任に際して挨拶させて頂きます。

### 副会長 嶋村公(4期)

平成22年9月4日(土)に開催した同窓会総会で副会長にご承認いただいた、4期生の嶋村です。

平成21年度の総会に初めて出席しました。卒業生として、同窓会活動がまだまだ道半ばであることに私自身が何か手伝うことは出来ないかと思いながら、22年度総会の手伝いをさせていただくことになり、そのご縁で役員に推薦いただきました。

同窓会の運営は未知数だと思えます、活動を理解し、知っていただくが同窓生の輪が広がるのが喜びにつながると思います。どうか宜しくお願いします。

### 生徒活動支援募金

2010年より生徒活動支援のための募金専用口座を設けました。

この募金は関東大会規模以上の大会等への出場を決めた部活・生徒さんへの支援に充てるもので、これまで「書道部会全国総合文化祭出展ならびに陸上部関東大会出場の活躍に横断幕を寄贈させて頂きました。



学校近隣の方々をはじめ学校説明会などに来られた方々への生徒たちの活躍ぶりのアピールにも役立っているように思います。年間を通じて100000円が受け付けております。

「協力頂ける方は左記までお振込みの上、11報をお願いします。

### ■募金振込先

横浜銀行 伊勢佐木町支店

普通 0000500600

神奈川県立港北高校同窓会宛